

さとやまGOODプロジェクト

雨乞いの儀式！オンラインで
味わい尽くす「うづと夏の神祇」

世羅町 年に1度行われる、「うづと夏の神祇」。その歴史や継承にまつわる苦労話などを関係者から聞き、また参加者同士での手踊りなどの神事の体験をオンラインで行いました。

開催日／10月23日(土)・11月14日(日)・12月12日(日)

身の回りの資源を活用した住みよい
安芸高田SDGsの取組 ～ピザ窯の活用～

安芸高田市 「こんなものがあたら!!」という地域ニーズをもとに、ワークショップを実施。地域内にあるピザ窯の活用に向けたメニュー開発など、新たな地域産品づくりを行いました。

開催日／10月24日(日)・11月14日(日)

さとやまオクトーバーフェスト
-さとやま Social GOOD BEERの祭典-

広島市 体験プログラムを通じてつくられた、耕作放棄地を活用して栽培したブルーベリーや、廃棄されていた小粒の牡蠣を用いたクラフトビールのPRや販売を行いました。

開催日／10月31日(日)

「コワーキングスペース梶ヶ浜」の
楽しいあり方教えて♪

呉市 とびしま海道にある下蒲刈島にオープンしたコワーキングスペースを紹介するとともに、より良い空間となるよう、施設の活用方法を考えるトークイベントを行いました。

開催日／11月6日(土)

音戸の瀬戸 ブラカズタ

呉市 呉市音戸町に興味を持ってもらい、コロナ禍が収束した後に現地に足を運んでもらうきっかけとなるよう、街並みや人、歴史の紹介などを行う動画を配信しました。

配信開始日／11月8日(月)

身の回りの資源を活用した住みよい
安芸高田SDGsの取組 ～食品廃棄物の利用～

安芸高田市 「こんなものがあたら!!」という地域ニーズをもとに、ワークショップを実施。廃棄されている地域の野菜や発酵食品などの活用方法について意見交換を行いました。

開催日／10月24日(日)

“ゲストハウス×ワークショップ×e-bike”
宮島で非日常を体験しよう！

廿日市市 宮島にあるゲストハウスを拠点に、e-bikeに乗って知られざる宮島の魅力を体験できるワークショッププログラムを行ったほか、モニターツアーの様子を動画で配信しました。

配信開始日／10月25日(月)

広島の地方創生の象徴となる日本酒造り

三原市・江田島市 三原市大和町の農家と、江田島市唯一の酒蔵との共同による日本酒造りの過程のほか、日本酒のブランディングの検討や稲刈り体験などの様子を動画で配信しました。

配信開始日／11月1日(月)

あれから4年！取組継続は力なり!!
～日本画家和高節二と向原～

安芸高田市 「ひろしまさとやま未来博2017」を契機とし取り組んできた4年間の活動紹介と体験。地元出身の日本画家・和高節二の活動に触れながら、地域文化について意見交換を行いました。

開催日／11月7日(日)

次代に残したい。陰陽の要衝、備後落合駅
国鉄OBガイド、永橋さんの取組

庄原市 山陰と山陽をつなぐ備後落合駅を残していくためにボランティアガイドを続けている永橋則夫さんの活動を通じて、芸備線の魅力を紹介する動画を配信しました。

配信開始日／11月10日(水)

現役旅行会社社員がお届けする
【ワークショップモニターレポート】

広島市・江田島市 旅行会社社員がワークショップモデルプランを体験した様子を動画で配信したほか、ワークショップの取組が県内で広がっていくよう、関係事業者を交えた座談会を行いました。

開催日／11月10日(水)

Trip！Online 廃業から奇跡の復活
『福光酒造』を知り尽くそう!!

北広島町 北広島町大朝でのサイクリング風景とともに、廃業から復活した酒蔵の見学などを通じて、どぶろくづくりの過程に触れるツアーを行いました。

開催日／11月12日(金)

身の回りの資源を活用した住みよい
安芸高田SDGsの取組 ～健康寿命伸長の取組～

安芸高田市 「こんなものがあたら!!」という地域ニーズをもとに、ワークショップを実施。地域の高齢者の健康寿命伸長に向け、有識者による講演や意見交換を行いました。

開催日／11月19日(金)

さとやま Social GOOD BEER
-江田島牡蠣・小粒牡蠣がきんちょ-

江田島市 牡蠣を育てる過程で廃棄されていた小粒の牡蠣を使ったクラフトビールづくりに挑戦。地元の牡蠣業者の方へのインタビューなども交えた動画を配信しました。

配信開始日／11月24日(水)

さとやまGOODレストラン

大崎上島町・竹原市 地域の食材を活かしたメニューを提供するシェフが生産者に直接取材を行い、生産者とともに新たなメニュー開発に取り組む過程を動画で配信しました。

配信開始日／11月25日(木)

油木高なまずチャンネル

神石高原町 耕作放棄地でナマズを養殖し、特産品とすることで地域の活性化を目指す「ナマズプロジェクト」を多くの人に知ってもらえるよう、高校生自らPR動画の作成に取り組み、配信しました。

配信開始日／11月11日(木)

中国山地のほぼ中央、『もぐら博物館』で
ホエールウォッチング!?

庄原市 庄原市比和町にある県内唯一の自然史系博物館が「モグラ博物館」と呼ばれる所以やクジラがいる理由などを、地元の方が出されるクイズなどを交え紹介する動画を配信しました。

開催日／11月13日(土)

尾道の奥座敷「御調」の秋の魅力発信!!
オンライン・ファーム・ツアー

尾道市 中山間地域の農業の現状や産地、生産者の声などを伝えることで新たな気づきや学び、購入・訪問意欲の醸成など、産地との新しい関係性をつくるツアーをオンラインで行いました。

開催日／11月23日(火)

『さくぎニコニコ便』利用促進の
計画立案と推進

三次市 県立広島大学の学生が、三次市作木町の公共交通サービス「さくぎニコニコ便」の利用促進・収益化に向けた住民アンケートやヒアリングに取り組む様子を動画で配信しました。

配信開始日／11月24日(水)

明治の世界一周冒険野郎
「中村春吉」と旅する瀬戸の島物語

呉市 明治時代に日本人初の自転車世界一周を成し遂げた、中村春吉の故郷、呉市豊町御手洗の歴史と、現代に生きる人々のストーリーに触れるツアーをオンラインで行いました。

開催日／11月28日(日)

さとやまGOODプロジェクト

学生と一緒に！
海の活動グループ交流会



海の清掃活動という「一人でもできる」活動が広がり、理解が深まるよう、県内の海の環境保全に関わる活動を行うグループの報告・交流会をオンラインで行いました。

開催日／11月28日(日)

あれから4年！取組継続は力なり!!
～さとやま保全と竹林活用～



「ひろしまさとやま未来博2017」を契機として取り組んできた4年間の活動紹介と体験。竹林の整備や有効活用に向け、活用事例の紹介や意見交換を行いました。

開催日／12月18日(水)～3日(金)・12月12日(日)

ブラカクチ
-格致生が庄原各地を散策してその魅力を伝えます-



広島県最大規模の農業用ため池「国兼池」の土木技術の高さや完成に至るまでの歴史に触れられるよう、高校生が青年会議所と共同で動画作成に取り組み、配信しました。

配信開始日／12月10日(金)

身の回りの資源を活用した住みよい
安芸高田SDGsの取組 ～発表会・マルシェ～



「こんなものがあったら!!」という地域ニーズをもとに、ワークショップを実施。当日までに行ってきた各種ワークショップで得られた新たな連携や成果物の共有を行いました。

開催日／12月12日(日)

クリエイティブリユースで探す地域の魅力



中山間地域内の企業から出た廃材を観察し、触れるワークショップを通じて、まちの産業や人を知り、普段当たり前に見えていた日常を豊かにする視点を体感していただきました。

開催日／12月16日(木)

さとやまイネBBQ



BBQインストラクターが里山で育った食材やジビエを用いたバーベキュー料理に挑戦する様子をオンラインで配信しました。

開催日／11月28日(日)

小学生リポーターによる
地元の魅力紹介チャンネル



空き家を活用した地域の子どもの居場所で行われる見守り活動などを、施設を利用する小学生自身がリポーターとなり、紹介の様子をオンラインで配信しました。

開催日／12月4日(土)

ViVA里山！～アクティビティー編
ツリーイングでフクロウの巣箱を設置しよう～



里山の資源を活かしてつくられた、五感を刺激するツリーイング体験をしながらフクロウの巣箱を設置するなど、里山の自然の豊かさに触れられる体験を行いました。

開催日／12月12日(日)

風水害への究極の備え
【ひろしまマイ・タイムラインを作ろう!】



災害の危険が迫ったときに、自分や家族がどのように行動すべきか、あらかじめ決めておく「マイ・タイムライン」を講師の指導のもと、オンラインで作成しました。

開催日／12月15日(水)

オンライン説明会や相談会を通じて、メンターや関係者とともにプログラムを完成しました。



クロージングイベント



①江田島市にあるコミュニティスペース「フウド」からオンライン配信 ②プログラムを完成した、広島市の鳴輪さん、神石高原町の広島県立油木高等学校の皆さん、安芸高田市の下岡さんからの報告

「ひろしまさとやま未来博2021」のフィナーレとして、里山・里海を舞台に新たに生まれたオンラインを活用した取組を未来につなげていくためのイベントを開催しました。

約3か月半にわたって行ってきた博覧会の概要説明のほか、会を彩った体験プログラム造作者と湯崎知事を交えた成果報告会では、造成から実施に至るまでの経緯や実施にあたっての工夫、今後の展望などについてお話をいただきました。

その後、里山・里海にあるものを活かして、新しい価値の創造につなげている取組を表彰する「ひろしま里山グッドアワード」の表彰式を行いました。

最後は、湯崎知事による挨拶と博覧会に関わった方々から、里山・里海に向けたメッセージで締めくくられました。



令和3年度ひろしま里山グッドアワード 受賞者の皆さん

受賞おめでとうございます

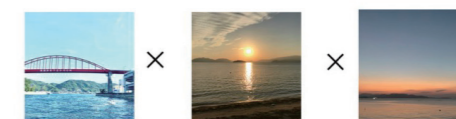
pick up

令和3年度のさとやま未来大賞は、近い将来、地域内の児童数が大幅に減ることを予想し、「児童数を100人」にすることを目指す活動【100プロ】が受賞されました。

開催日／令和3年12月19日(日) 配信会場／コミュニティスペースフウド(江田島市沖美町)

/// 里山×AI さとやまGOOD未来デザイン ///

「里山の大切にしたい〇〇」を写真やイラストで募集。筑波大学准教授の落合陽一氏が代表取締役を務めるピクシーダストテクノロジーズ株式会社が展開する最新のAIシステムを用いて、未来のさとやまGOODをイメージしたオリジナルデザインを作成し、クロージングイベントで披露しました。



呉市音戸町の風景写真を掛け合わせ、AIが制作したデザイン

募集期間／令和3年11月6日(土)～12月6日(月)

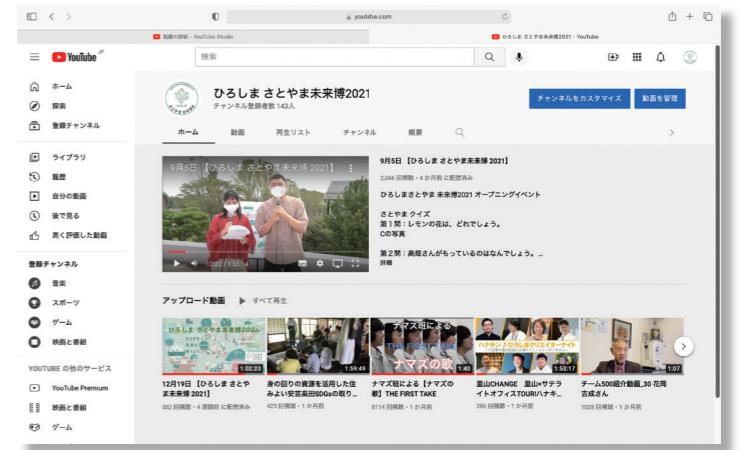
ウェブサイト

公式ウェブサイトでは、各プロジェクトの開催情報のほか、プログラム当日の様子や開催後のレポート、チーム500登録者の紹介動画なども掲載し、情報発信を行いました。



You Tube チャンネル

オンラインを中心とした博覧会であることから、YouTubeチャンネルを開設し、各プログラム開催後にも楽しんでいただくためのアーカイブ動画を多数公開しました。



PRムービー及びデジタルサイネージ



公式LINEアカウント及びオリジナルLINEスタンプ

公式LINEアカウントでは、ウェブサイトと連携し、最新のプログラムやイベント情報のほか、LINEゲームを介したチーム500登録者の紹介動画などの情報発信を行いました。
また、県内の中山間地域19市町にまつわる、普段使いのできる、オリジナルLINEスタンプ【ひろしま・さとやまGOODスタンプ】を制作し、公式LINEアカウントの登録者数増加や県内中山間地域の更なる認知向上を図りました。

プロモーション ツール・グッズ

ひろしまさとやま未来博 各種プロモーション 短期的なイベント 中山間地域の魅力発信につな

2021のコンセプトに即した ツールやグッズを制作し、告知にとどまらない、 がる広報活動を展開しました。

ポスター & ガイドブック



開催に先駆け、本博覧会の概要やロゴマーク、見どころなどをまとめたガイドブックを制作しました。(ガイドブック/A4: 12,000部、ポスター/A2: 1,000部)

テレビ

県民テレビやRCC「イマナマ!」を通じて、ひろしまさとやま未来博2021の概要や各プロジェクトの開催情報などを幅広く発信しました。



関係者用マスク

オープニングイベントをはじめ、様々な機会でご覧を周知するためのオリジナルマスクを制作しました。

